

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		昼夜とも身体面・精神面で介助が必要な方が多くなってきており、対応方法の不安やゆったりとした関わりが難しくなっている。	ゆったりとした気持ちでケアにあたり、できた喜びを職員と入居者のみなさんが感じ笑顔で穏やかに過ごす時間が多くなる。	1.職員との定期的な面談の実施。(3ヶ月ごと) 2.ユニット会議で利用者の状況確認、統一したケアにつながるよう話し合いを持つ。 3.業務の見直しを行う。 4.家族もケアカンファレンスに参加していただき、現在の状況をお互いに確認し、今後について家族の意向やホームでの対応など話しあう。 5.リハビリ体操を行い筋力アップと身体機能の維持に努める。 6.精神の活性化を図ると共にレクリエーションを通し楽しい時間を共有する。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。